

No.3

赤とんぼ

♪夕焼け小焼の赤とんぼ、負われて見たのはいつの日か、この歌がぴったりの季節になって来ました。

海上の森には10種類を超える赤とんぼがいます。代表的なトンボをご紹介します。



1：マユタテアカネ



2：リスアカネ



3：コノシメトンボ

- ① **マユタテアカネ**は海上の森で多く見られるアカトンボです。6月上旬に羽化し、しばらくの間は森の日陰で過ごし、産卵期に水辺に降りてきます。顔に公家さんの眉のような模様があります。
- ② **リスアカネ**は大正池など水辺に多くいます。10月頃に盛んに交尾し、卵を産む姿が見られます。羽の先端に黒褐色の模様があり、胸の黒条は途中で消えます。マユタテアカネより大きいです。
- ③ **コノシメトンボ**は里や田で多く見かけます。9月下旬頃、田の杭毎に止まり虫を狙う姿をよく見かけます。羽の先端に黒褐色の模様があり、胸の黒条は途中で曲がり、リスアカネに似ています。



4：アキアカネ



5：ミヤマアカネ



6：ネキトンボ

- ④ **アキアカネ**は6月頃羽化し、真夏は御在所岳など涼しい山地で過ごし、秋に水田に戻ってきます。羽は全体が透明で顔に眉斑はありません。暖かい年は12月まで見られ、ナツアカネに似ています。
- ⑤ **ミヤマアカネ**は海上の森では少し珍しいトンボです、屋戸湿地などで時々見かけます。羽の先端に褐色の帯があります。若い時は写真のように色が薄く、成熟するにつれ赤味が増します。
- ⑥ **ネキトンボ**は比較的数が少ないトンボです、大正池などで見られます。胸の黒条が太くがっしりした感じです。羽の基部に名前の由来になった橙褐色の模様があります。

